

整理 No.	20	分類	「その他」(徐冷スラグ)	
会社名	還元溶融研究会（メルテック株式会社）			
担当者	技術・品質管理課長 小島久典			
連絡先	TEL	0285-49-1080	FAX	0285-49-1084
	E-mail	<a href="mailto:kojima.h@meltec-ltd.co.jp">kojima.h@meltec-ltd.co.jp</a>		
技術の名称	還元溶融			
概要 (150字程度)	<p>焼却灰を溶融処理することにより無害化し、溶融スラグを徐冷することで結晶化が進み天然石と同等の物性となる。道路用下層路盤材や整地材などの資材として利用でき、天然資源の保全、循環型社会の構築に貢献している。</p>			
技術登録等	とちの <sup>お</sup> 環エコ製品（栃木県リサイクル製品認定）認定番号 28-007			
技術の概要	<p>焼却灰をコークスベッド式縦型炉の還元雰囲気下で溶融処理することで、塩化揮発が促進され鉛などの重金属類のほとんどは、排ガス側へ揮発し、安全な溶融スラグが生産される。また、溶融スラグを冷却容器内でゆっくりと時間を掛けて徐冷することで、結晶化が進み天然石（安山岩、玄武岩）と同等の物性となる。生産した溶融スラグ（商品名：「メルエース」）は、JIS A 5032などに規定される安全性基準（重金属溶出値など）や物性基準（表乾密度など）を十分に満足しており、道路用下層路盤材や整地材などの建設資材として利用される。</p> <p>また、焼却灰中に微量に含まれる貴金属（Au、Ag、Cu、Pt、Pd）は溶融スラグよりも密度が高いため、冷却用容器の底面に沈降して溶融スラグと分離し、冷却後に磁力選別機で回収する。冷却中に時間を掛けて分離できるため、貴金属の回収率が高く、濃度も高品位となる。</p> <p>製造実績：2012～2016年度平均実績 年間～20,000トン</p>			